Fons Sapientiae

仙台白百合女子大学図書館報 「フォンス サピエンティエ」



-Contents-

- ・地域貢献研究センター
- ・新着図書の紹介
- ・新着DVDの紹介
- · 推薦図書
- ・図書館からの報告とお知らせ
- · 2016年度図書館関係会議·研修会等報告

地域貢献研究センター

図書館に新たに設置されたのが、地域貢献研究センターです。地域貢献研究センターの設置目的は、産官民学連携事 業の実施及び生涯学習の機会等を提供することにより、地域社会の産業及び文化の進展並びに人材育成に貢献すること です。本センターが正式に発足したのは2016年度ですが、その1年前より活動は始めており、これまでにいくつかの活動成 果が出ておりますので、ここにご紹介させていただきます。

○企業との連携による高速道路限定スイーツの開発

NEXCO 東日本高速道路株式会社東北支社とネクセリア 東日本株式会社東北支店からの高速道路限定スイーツ開 発企画(依頼)に、健康栄養学科の学生 19 名が協力し、地 元の食材を利用した「Sendai Shirayuri Presents ロール ケーキ ヨーグルトクリームテイスト」と「Sendai Shirayuri Presents ブラウニー セサミウォールナッツテイスト」の開発 に至りました。これらは前沢 SA、長者原 SA、鶴巣 PA、菅生 PAで販売され、高い評価を得ることができました(販売開始 日 2015 年 7 月 8 日)。この連携成果は『Highway Walker 8月号 (2015年)』や『河北新報 (2015年8月8 日)』等に掲載されました。



『河北新報』 2015年8月8日掲載

○企業との連携による「杜の都のアイデアレシピ」の開発

第二弾として、NEXCO東日本高速道路株式会社東北支 社とネクセリア東日本株式会社東北支店から、高速道路限 定オリジナルメニュー開発の依頼があり、健康栄養学科の学 生7名が地元の食材を利用したオリジナルメニューを数多く 提案し、その中から選ばれた5つのメニューがサービスエリア 等での販売に至りました。この連携成果は『交通毎日新聞 (2016年7月21日)』や『河北ウィークリー(2016年8月11 日)』、『Highway Walker 10月号(2016年)』等に掲載され ました。

女子大生考案のメニュー 期間限定で高速道路に登場

東北自動車道サービスエリア(SA)・バー キングエリア(PA)4カ所で宮城県産食材を 使ったオリジナルメニューを提供している。 仙台白百合女子大とのコラボ第2弾で、同 大の学生らがレシビを考案。長者原SAは上 り線で「蔵王チーズとデリシャストマトソー スのパスタ」(1080円)と「三陸産わかめサ ラダ」(280円)、下り線で「牛タン野菜炒め ~チンジャオロース風~」(1300円)、普生 PAは上り線で「豆乳ごまだれ湿糖」(660) 円)、下り線で「名物 三角揚げと十割そば (冷)」(850円)が味わえる。



『河北ウィークリー」 2016年8月11日掲載

○みやぎの水産物普及活動に関する協定締結

本学は昨年から県と連携し、特産のホヤに関する消費者 嗜好や栄養成分の調査、それを踏まえたレシピ、学校給食 向け商品の開発とPR、オリジナルの食育教材「みやぎ魚合 わせカード」の作成、それを活用した特別授業の実施などさ まざまな活動を展開して参りました。このことが評価され、さ らに連携を深め、より効果的な活動を積極的に行っていこう という目的で、本学と宮城県農林水産部が「みやぎの水産物 普及活動に関する協定」を締結するに至りました。

これから本学が、県民の魚食を推進し、地産地消の拡大 を通じて"水産県・宮城"の震災復興を行っていく宮城県に 積極的に協力して参ります。

地域貢献研究センターで は、このような地元の企業や 施設、地方公共団体との協同 による種々の課題解決や人 材育成、商品開発等に取り組 んでいくほかに、生涯教育を 目的としたテーマ別公開講座 の開催や地域交流カフェ、ス ポーツ講座の開催、中高生か



『水産経済新聞』2017年2月14日

ら社会人までが参加できるビブリオバトルの開催などにも積 極的に取り組んでいく予定ですので、ご期待ください。

新着図書の紹介



『蜜蜂と遠雷』 恩田陸著 幻冬社



第156回 (2016年下半期) 直木賞受賞作の本作は、3年毎に 開催される芳ケ江国際ピアノコンクールに挑む数多の天才たち による、競争という名の自らとの闘いを描いています。

養蜂家の父とともに各地を転々として自宅にピアノを持たない少年や、かつて天才として国内外のジュニアコンクールを制覇してCDデビューを飾りながらも、母の突然の死去以来長ら

くピアノが弾けなかった女性、音大出身だが今は楽器店勤務のコンクール年齢制限ギリギリのサラリーマン、完璧な演奏技術と音楽性で優勝候補と目される名門ジュリアード音楽院の19歳の男性、など魅力的なキャラクターたちが競いあう中で様々なドラマが繰り広げられます。ピアノコンクールを舞台に、人間の才能と運命、そして音楽を描ききった青春群像小説です。

『置かれた場所で咲くこととは・・・: DVD Book』 渡辺和子著 宝島社



大ベストセラー『置かれた場所(ところ)で咲きなさい』の著者で、2016年12月にお亡くなりになった元日本カトリック学校連合会理事長、ノートルダム清心学園理事長である渡辺和子氏ご本人が語りかけてくれるDVDBOOKです。心がスッと楽になる言葉、人生の宝物となる金言をシスターの爽やかで温かな声が語ってくださっ

ていて、心にしみる一冊となっています。シスターは、2015年7月18日(土)に本学の創立50周年記念講演会で「現代の忘れもの」というタイトルで講演を行ってくださいました。この記念講演会は、本学同窓生の他にも多くの一般の方々にお集まりいただき、大変な好評を博しました。シスターのご冥福をお祈りいたします。

『i アイ』 西加奈子 著 ポプラ社



「この世界にアイは存在しません。」入学式の翌日、数学教師の言った言葉が主人公ワイルド曽田アイに衝撃を与え、彼女の胸に居座り続けます。数学教師は虚数について言っているだけですが、ことあるごとに挿入されている「この世界にアイは存在しません。」という一文は読者の心にも大きく響いてくることでしょう。この小説では、主人公の赤ん坊の頃から26歳までの人生が描かれ

ています。その人生の中で、主人公アイは同級生のミナと写真家のユウという二人の人物と知り合い、多大な影響を受けます。この二人に接することで、アイは自分の存在意義を問い続けることになります。「想うこと」で生まれる圧倒的な強さと優しさ…、アイは自分の存在意義を見出すことができるのでしょうか。圧巻なラストが胸を打つ、直木賞受賞作家西加奈子の衝撃作です。

『本を守ろうとする猫の話』 夏川草介著 小学館



主人公の高校生、夏木林太郎は、古書店を営む祖父と2人暮らしなのですが、祖父が突然亡くなってから生活が一変します。 面識のなかった叔母に引き取られることになり、本棚の整理をしていた林太郎の前に、人間の言葉を話すトラネコが現れました。このトラネコは本を守るため林太郎の力を借りたいのだといいます。トラネコに導かれるままに4つの迷宮へと向う林太郎。「お前は、ただの物知りになりたいのか?」「山のように読むべ き本があるというのに、一冊の本を繰り返し読み返すなど、時間の浪費以外の何物でもあるまい」「連読もあらすじも、今の社会が求めているものだとは思わんかね」「出版社に必要なのは、"世界に何を伝えるべきか"ではない。"世界が何を伝えてほしいと思っているか"を知ること」。世の中のすべての本好きに問う、次々と繰り出される"本"をめぐる迷宮での対決…。『神様のカルテ』の作者、夏川草介の初のファンタジー長編です。

新着DVDの紹介

「ファインディング・ドリー」



2003年に公開された「ファインディング・ニモ」の奇跡の冒険から1年後の物語となっています。カクレクマノミのニモの親友で、ナンヨウハギの、何でもすぐに忘れてしまう忘れんぼうのドリーがただひとつ忘れなかったのは《家族の思い出》でした。

「どうしてもパパとママに会いたいの」、二モと父マーリン、そしてカメのクラッシュや個性豊

かな新しい仲間たちに支えられて、ドリーの家族を探す感動の冒険が始まりました。唯一の手がかりは<カリフォルニア州モロ・ベイの宝石>、そこは海の生き物にとっての禁断の場所=《人間の世界》でした…。

極度の健忘症のドリーが巻き起こす仲間とのユーモラスなやり とりに笑い、記憶できないことの哀しみに心うたれたり、最後の場 面では深い感動に涙をさそわれる映画となっています。

「名探偵ポワロ」シリーズ (DVD52巻)



AGATHA CHESTRES POROT NEW SEASON DVD-BOX 3 アガサ・クリスティ原作の名探偵エルキュール・ポワロシリーズを映像化した作品になります。イギリスのロンドン・ウィークエンド・テレビが主体となって1989年から2013年にかけて製作されました。主役のポアロを演じているデビッド・スーシェは、熱心なクリスティファンからも、原作のイメージそのものと言われており、ポワロといったらこの俳優が自然と思い出される人も

多いことでしょう。本学では、短編から始まって長編にいたるまでほぼ全ての原作を映像化したこの「名探偵ポワロ」シリーズを揃えて来ましたが、最終第13シリーズの5巻が入り全巻が揃いました。

「ミステリーの女王」と呼ばれたアガサ・クリスティが生み出した、「灰色の脳細胞」を十分に活用して事件を解いていく、ベルギー人の自惚れ屋で伊達男の名探偵、エルキュール・ポワロの世界をお楽しみ下さい。



推薦図書

『日本の大和言葉を美しく話す 一こころが通じる和の表現一』高橋こうじ 著 東邦出版 人間発達学科 講師 上岡 紀美



うさぎ追いし 彼の山 こぶな釣りし 彼の川

夢はいまもめぐりて 忘れがたきふるさと

日本人の心に染み入る唱歌「ふるさと」は歌詞のす べてが大和言葉で綴られた一曲だそうです。「やま」「か わ」「ゆめ」「ふるさと」・・・先祖代々用いられてきた生 粋の大和言葉は、美しくも柔らかで、何より一音一音 が心に深く響きます。

この書には、「ゆくりなく(思いがけず)」「日和(天気)」 「おめかし(お洒落)」「言祝ぐ(祝う)」など、大和言

葉の数々が紹介されており、昨今問題となっている ネット上の悪質な書き込みやヘイトスピーチなど、粗 暴な言葉の氾濫を危惧した著者が、美しい大和言葉で 彩られるあなたの生活を願った一冊となっています。

古来より、言葉の力を信じてきた"言霊の幸わう国" 日本に生きる私たち。日常何気なく発している言葉の ひとつひとつをご一緒に見直してみませんか?

THE POSTER FRANCE FRANCE

美しく優しい大和言葉を紡ぐ日々を過ごしてまいり たいものです。

『原阿佐緒全歌集 (第二版)』 小野 勝美 編著 至芸出版社

心理福祉学科 特任教授 鈴木 敏明



原阿佐緒(1888-1969)は、明星派・アララギ派 で活躍した女流歌人です。女流歌人・俳人には、感 性の表出に優れ、心の奥深くに潜む感情に作用する 歌を作る人が多いように思います。与謝野晶子しか り、杉田久女しかり、そして原阿佐緒もそうです。 また、時としてそうした優れた芸術的感性が世間と 衝突することがあるのも共通しています。

芸術は「救い」と「破壊」という相反力を内包し た活動であると言われます。阿佐緒の生涯にその 時々の作品を突き合わせながら思いを致す時、作歌

による「救い」の証を多く見る気がします。

本学の北北西約10kmの黒川郡大和町宮床にある阿 佐緒の生家は、現在『原阿佐緒記念館』として整備 され、当時のインテリアが再現され、ゆかりの文物 が展示されています。記念館の庭には下の歌を彫っ た第二歌碑が建立されています。

沢蟹をこ、だ袂に入れもちて耳によせきくいきの さやぎを (『アララギ』)

『夏目漱石の人生論 牛のようにずんずん進め』 齋藤 孝著 健康栄養学科 教授 神田 あづさ



この本は夏目漱石のメッセージを分析することに より、漱石が人生をどのように考え、歩んでいった かを取り上げた一冊です。漱石にとって牛とは「真 面目」の象徴でした。この本のタイトルである『牛 のようにずんずん進め』は他者の顔色をうかがいな がら生きるのではなく、一歩ずつ前に進み、評価を すぐには求めない、という意味のようです。そんな 漱石の弟子たちに対する接し方は、とても真面目で 誠実でありました。「教師は嫌いだ」などと言いな

がら、これほど真面目で誠実な教師は少なかったの ではないでしょうか?漱石は教師時代、学校での授 業で教えること以上に、人と人の付き合いの中で人 を育てることを大切にしていたようです。この本を 読むことにより、「ただおとなしいだけの中途半端 な真面目さではなく、牛のように力強い真の真面目 力に目覚めることが充実した人生につながる」と語 る著者の思いにふれてみませんか。

『ベルリンに一人死す』 ハンス・ファラダ みすず書房

矢口 洋生 グローバル・スタディーズ学科 教授



今年になって読んだ中で一番印象的な本。舞台は第 二次世界大戦下のドイツ。ヒトラーの第三帝国に生き る市民の姿が描かれている。

グヴァンゲル夫婦の一人息子がヒトラーの軍隊で命 を落とした。そこから夫妻の抵抗が始まる。抵抗と いっても地味だ。ハガキにヒトラーとナチスの悪口を 書き、それをベルリン市内のどこかにそっと置くだけ なのだ。誰が読もうが、読むまいが関係ない。ただひ そかに、この小さな抵抗を2年以上続けるのである。

行動はささやかだが、影響は大きかった。捜査担当 のエッシェリヒ警部は、でたらめな報告の辻褄合わせ として犯罪に手を染め、苦労してクヴァンゲル夫妻を 逮捕するものの結局自殺してしまう。密告屋や小悪党 どもも災難にあうか死ぬ。他の関係者も次々と死んで しまう。結局、みんな死んでしまう。

落ち込む話だが、読後感は悪くない。主人公の オットーは老いた工場労働者に過ぎない。人付き合 いが悪く人望もない。普通の人かそれ以下のヒー ローなのだ。でも、それがいい。高邁な理念は特に ない。ショル兄弟やボンヘッファーのような英雄で はない。小さな人間が、単純な個人的怒りから小さ な行動を起こし、捕まり、そっと消えていく。異常 な状況下の日常性が、かえって心に沁みる。何が普 通で何が異常なのか・・・

原作はドイツで1946年に発表された、ナチス統治 を体験した人気作家ハンス・ファラダのリアリズム小 説である。実在の夫妻をモデルにしたという。592 ページの長編で入り組んだ話だ。が、時代の雰囲気 が脳裏から離れなくなる。それこそが傑作というも のなのだろう。

74

図書館からの報告とお知らせ

報告

(1)紙芝居

2016年10月23日(日)、白百合祭の図書館企画として、「仙台の昔を伝える紙芝居作り・上演実行委員会」による紙芝居の上演を行いました。「仙台の昔を伝える紙芝居作り・上演実行委員会」では、仙台のひとや歴史、民話、名産物など次世代に伝えていきたいことを題材とした紙芝居



紙芝居

を企画制作し、仙台の町の個性を多くの人に知っていただくため、様々な機 会や場所において上演等の活動を行っています。

お子さん連れのご家族やご年配の方もじっと見学されており、「また、紙 芝居がみられるなんて…」との懐かしそうな言葉がとても印象に残りました。

(3)ビブリオバトル説明会

図書館では、本学でのビブリオバトルの開催を検討しております。ビブリオバトルとは、発表参加者が読んで面白いと思った本を5分間で紹介した後に、全参加者で2、3分のディスカッションを行い、全紹介が終わってから参加者全員で「どの本が一番読みたくなったか?」投票でチャンプ本を決めるといった知的



ビブリオバトル説明会

書評合戦と言われている書評ゲームです。本学の学生にもビブリオバトルを知ってもらいましょうということで、宮城教育大学のサークルBIBLionから3人の学生を呼んで、2017年2月3日(金)にデモンストレーションを行いました。積極的に質問をする学生もいて、参加者はビブリオバトルに大変興味を持ったようでした。

(2)図書検索ミステリーツアー

2016年10月22日(土)、白百合祭の図書館企画の定番となりつつある、図書検索ミステリーツアーが行われました。こちらは、午前、午後とも10間ずつ(お子さん用問題は5問ずつ)のクイズを、図書を調べたり書架を確認したりしながら解いていく企画となっております。参加賞のほか全問正解者



図書検索ミステリーツアー

には賞品もお渡ししており、毎年参加してくださる方もいらっしゃいます。

本学の学生もボランティアで館内や書架の案内、問題の解説等に携 わっており、大学図書館と学生の様子を一般の方に見ていただきながら楽 しめる企画となっておりますので、今後も継続していきたいと考えております。

(4)データベース講習会

2016年度のデータベース講習会は、図書館導入のデータベースの中から「ジャパン・ナレッジ」を選んで、配給元の株式会社ネットアドバンス、ビジネスセンターマネージャーの酒井康治氏を講師に、前期は7月25日(月)の1校時目(9:00~10:30)と4校時目(14:40~16:10)に、後期は11月30



データベース講習会

日(水)の3校時目(13:00~14:30)に行われました。

「ジャパン・ナレッジ」は、日本大百科全書等各種の辞書や週刊ダイヤモンドの記事等を一括して検索できる、総合系知識データベースです。参加した学生は演習問題等を実際に行うことで、楽しみながら講習を受けていました。

お知らせ

(1)多目的個別ブース

2016年10月より、図書館2階の奥の区画に多目的個別ブース12席を設けました。こちらは、机をサイドパネルで区切ってあり、隣が見えないようになっておりますので、集中して学習したい時に最適なスペースとなっております。また、多目的個別ブースのコーナーに、新たに購入した公務員試験問題集やSPI問題集などを置いて、自習スペースとし



て積極的に活用できるようはかりました。学生の認知度が高まるにつれ、大いに 使われている様子です。静かな環境で勉強したい時は、是非ご利用下さい。

(2)電子書籍

図書館のホームページから和・洋の電子書籍が閲覧できるようになりました。和の電子書籍は、数は少ないですが、Marzen eBook Libraryで本学が購入した就職関係の電子書籍を見ることができます。また、洋の電子書籍はEbook Centralで心理学関連の文献コレクション100タイトルを検索して閲



覧できます。図書館ホームページの左側の下の方にバナーを設けてあり、そこから 入って閲覧できるようになっておりますので、ご活用下さい。

2016年度図書館関係会議・研修会等報告

本学図書館は、日本カトリック大学連盟図書館協議会及び東北地区大学図書館協議会に所属していて、大学図書館間相互の連携によって利用者への利便性を図っています。日本カトリック大学連盟図書館協議会は、全国18校のカトリック大学の図書館で構成されており、加盟館の発展や情報交換・相互協力を目指しています。2016年度の総会及び実務研究会は南山大学で6月24日(金)に開催されました。総会では、日本カトリック大学連盟の法人化に伴い下部組織である日本カトリック大学連盟図書館協議会の規約等の変更点の確認等が行われました。また、承合事項として、学生アルバイトスタッの活動、教員・学生への電子ジャーナルの提供方法、退学者への貸出図書返却の督促について等の各館の状況をまとめたものが配布されました。総会後は南山大学図書館、南山大学人類学博物館を見学し、さらにその後の実務研究会では、名古屋市にある「徳川美術館」「蓬佐文庫」の見学会が行われました。

東北地区大学図書館協議会は、東北地区の国立大学15館、公立大学12館、私立大学37館の計64館が加盟する図書館協議会で、こちらも情報交換や職員のスキルアップ相互協力を図っています。2016年度の総会は福島大学で、9月30日(金)に行われました。総会では、平成28年度から国立情報学研究所が目録システム講習会や専門研修のいくつかを研修事業の対象から外したため、東北地区の研修事業を今後どう展開していくかといった案件等の検討が行われました。

総会後の講演会では「3・4年生に対する学修支援を中心に据えた図書館外設置型ラーニング・コモンズの構築過程と課題」と題して、東北学院大学キャンパンス整備計画の一環として2016年3月に完成した「ホーイ記念館」の1階と2階に設けられたラーニング・コモンズ「コラトリエ」について、東北学院大学でラーニング・コモンズの設置に関わってきた、学務部学事課ラーニング・コモンズ係の佐藤恵氏の講演がありました。

図書館報バックナンバー http://sslibrary.sendai-shirayuri.ac.jp/